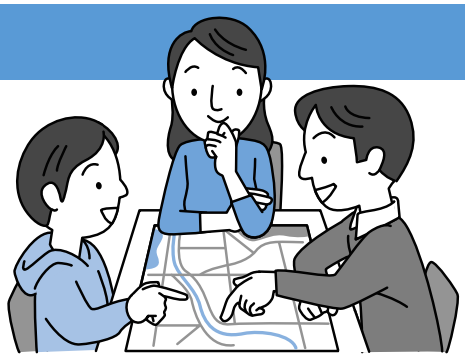
大雨を想定して万全の備えを

災害が発生したときに適切な行動を取るためには、日頃からの心構えが欠かせません。家庭や地域で災害が起きたときのことを想像し、いざというときに備えることが大切です。

家庭での備え



危険な区域と避難場所が分かるマップで自分の家の危険度を確認しよう

市では、洪水や土砂災害の被害を受けやすい地域を確認できるマップを配布しています。このマップを使って、避難する場所や経路を確かめてみてください。

洪水ハザードマップ

洪水発生時の危険箇所や避難場所、避難の目安などが分かる地図。豊平川などの大きな川と、それ以外の小規模な川に分けて作成しています。

土砂災害避難地図
土砂災害危険箇所図

崖崩れや土石流による危険が予想される区域や避難場所を掲載。山沿いのほか、平地でも被害が想定されている地域もあります。

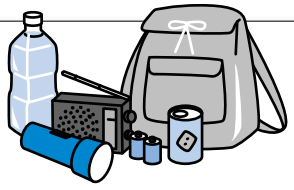
洪水ハザードマップ、土砂災害避難地図は区役所などで配布中
土砂災害危険箇所図は区役所などで見ることができます

ホームページでも見られます
札幌市　災害危険箇所図　検索

避難時の持ち出し品をそろえておこう

小中学校などの避難所に逃げる場合、そこで過ごす時間が長くなることもあるため、最低限の生活必需品を持ち出さなければなりません。必要なものをあらかじめリュックサックなどに詰めて保管しておくと安心です。

最低限、これらのものは準備！

持ち出し品チェックリスト

- □ 食料（缶詰など）・水
- □ 携帯ラジオ・電池・懐中電灯
- □ ロープ・探り棒
- □ 常備薬
- □ 衣類・防寒具・下着
- □ かっぱ・雨具
- □ ハザードマップ・避難地図